

2010年8月25日 小坂井の人権のまちづくり公園で行われた『ふれあい祭り』は



子どもと高齢者がつながって  
複数の地域がつながって盛り上がりました。



## 懐かしい口上！バナナの叩き売り



バナナの叩き売りの口上が懐かしい方は、何歳くらいかな？小学生たちが元気な口上に挑戦して、おこづかいをほたいてバナナを買っていただきましたよ。南京玉簾やハーモニカ演奏など多彩な才能をもつ小郡の元気もんグループが、特設ステージで大活躍。地元小郡自慢の芸能集団ですね。

# ふれあい祭り



複数の地域が一緒に

多世代が一緒に

これからも  
人権のまちづくりにむけた  
住民交流・ふれあいの場として  
この人権のまちづくりふれあい公園を  
活用していきましょう！



## 祭り会場ではエコキャップ回収。 地域で社会貢献に一役！

今回のふれあい祭りは、ひと工夫しましたよ。エコキャップのリサイクルです。会場に回収ボックスを設置しました。小さな子から高齢者まで手に手にペットボトルのキャップを持って集まってくれました。キャップを回収して、リサイクル工場で再形成して、新たな商品として販売されます。その売り上げで開発途上国の子どもたちにワクチンを贈るといふ、エコから福祉につながる活動です。



▲ ペットボトルキャップが植木鉢に変身！

## 笑顔の写真展は大好評！



会場に設置された笑顔の写真展。ふれあい祭り会場に集まった方々をその場で撮影し、その場でプリント。どんどんその笑顔は展示されていきました。今回のお祭りでの裏方を引き受けてくださったのは、人権教育啓発センターの皆さん。ほんとうに素敵な笑顔の写真展になりました。皆さんの笑顔に元気をいただきました。

## あれ！保育園の先生がお店やさんだよ



お祭り広場には、いろんな屋台が出ていました。食べ物屋さんはもちろんですが、子どもたちが気になるのは夜店のおもちや屋さん。「どんなおもちやがあるのかな」でもそこにいたのは大崎保育所の先生たち。いつもと違う「いらっしやい、いらっしやい。ありがとうございませう」の先生方のおかげ声に子どもたちは大喜び。大崎保育所は日ごろから「人権のまちづくり」でいっしょに活動しています。この日も助っ人として参加してくれました。大崎保育所を卒業した小学生たちは開店前から先生方のまわりをうろうろ。地域連携の祭りならではの光景ですね。

## 地域のみなさんが主役です！



祭りの野外ステージで地元のむかし話を大型紙芝居で話してくださったのは、プロバスクラブの方。お隣では、小郡手話の会の方が手話通訳してくれました。紙芝居の始まりには、昔ながらの鈴も配られたんですよ。手話は、保育園や小学校などでも徐々に広がっており、子どもたちにも馴染みのあるものになっていきます。朝の準備から、片付けまで、多くの人が入れ替わり立ち替わり参加。小中学生もスタッフとして活躍！たくさんの方がいろんな形で参加されました。一人ひとりがお祭りの主役です。